

# 蔵田委員 資料編 ②

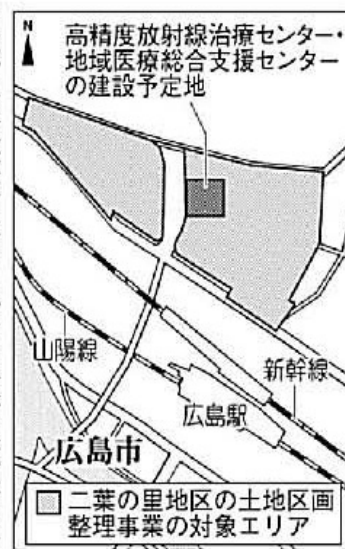


協定書に署名する湯崎知事と碓井会長

高精度放射線治療センター 地域医療総合支援センター

## 広島駅北に一体整備

### 広島県と県医師会、協定締結



広島県と県医師会は6日、再開発が進むJR広島駅北口（広島市東区）の二葉の里地区で、高精度放射線治療センターと地域医療総合支援センター（いずれも仮称）を一体整備する協定を結んだ。県庁であった締結式

がん治療を専門に手

には、湯崎英彦知事と碓井静照会長が出席。放射線治療センターを整備する県と、総合支援センターを設置する県医師会が、両センターが入る建物を共同で建設することを盛り込んだ協定に署名した。

構想では、県が取得する6千平方メートルに、延べ約1万2千平方メートルの建物を建設。うち約3700平方メートルを放射線治療センター、約8300平方メートルを総合支援センターとして使う。合築は、地域医療の拠点性向上や行政と医療機関の連携強化が狙い。土地の有効利用にもつなげる。

掛ける放射線治療センターの運営については、県医師会に委託する方針。総合支援センターには、県医師会や、医師の派遣調整を担う県地域保健医療推進機構の事務局が入ると

（和田木健史）

もに2014年度の開設を目指す。

両センターの整備はそれぞれ、県が昨年1月に策定した地域医療再生計画に明記された。単体の総事業費は放射線治療センター26億6900万円、総合支援センター35億5900万円。県と医師会は合築に伴う建設費を今後精査する。建設費は国の基金を活用した上で、両者が分担する方針でいる。

蔵田委員 資料編 ③

# 基幹4病院 連携模索



## 県、年度内に報告書

えたい」としている。

具体的には、まず県  
医療機器の共同利用  
などを検討し、報告書  
にまとめる。

ら35年に239万3千人へと16%減るとい  
う。県医務課は「人口  
が減る中でも、限られ  
た医療資源を効率的に  
生かして高度な医療サ  
ービスを続ける道を考  
えたい」としている。  
具体的には、まず県  
医療機器の共同利用  
などを検討し、報告書  
にまとめる。

## 診療科集約や 機器共同利用

県は、県立広島病院  
(広島市南区)や広島  
市民病院(中区)など  
広島市内の四つの基幹  
病院の将来像を調査、  
研究する。広島都市圏  
を含む県人口の減少が  
加速する10~20年後を  
にらみ、重複する診療  
科を集約するなど各病  
院が役割分担して医療  
サービスの質を保った  
めの手だてを検討。本  
年度中に報告書をまと  
める。(村田拓也)

県立広島病院(病床  
数715床)▽市民病  
院(743床)▽広島  
赤十字・原爆病院(中  
区、646床)▽広島  
大学病院(南区、74  
0床)の4病院。  
厚生労働省の推計に  
よると、県人口は20  
10年の286万人か

〈広島市内の基幹4病院の主な機能〉

病院名	ベッド数	主な機能
県立広島病院	715床	救命救急センター、総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、地域医療支援病院
広島市民病院	743床	救命救急センター、総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、地域医療支援病院
広島赤十字・原爆病院	646床	がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院
広島大学病院	740床	高度救命救急センター、がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、臓器移植施設

一方、県がJ.R.広  
島駅北口の二葉の里地  
区(東区)に14年度開業  
を目指し整備する高精  
度放射線治療センター  
(仮称)に高度な放射線  
治療機能を集約するこ  
とを決定。病院間の連  
携に動き始めている。



# 蔵田委員 資料編 ④ 県内勤務医数と岡山県との比較

(注)岡山県の人口は広島県の約68%

## 年齢層別 病院「勤務医師数」の推移

(出典:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」) (単位:人)

	20歳代		30歳代		40歳代		20~40歳代合計	
	H22時点 勤務医数	H16~H22 増減	H22時点 勤務医数	H16~H22 増減	H22時点 勤務医数	H16~H22 増減	H22時点 勤務医数	H16~H22 増減
広島県	537	▲38	1,189	▲129	1,081	+11	2,807	▲156
岡山県	580	+47	1,109	+63	834	+45	2,523	+155
山口県	216	▲58	633	▲49	568	▲22	1,417	▲129

● 同一期間に、30歳代の病院勤務医が ⇒ 当県:大幅減少、岡山県:増加(H16年からH18年にかけて大幅増)

● 想起される要因 : 高度医療技術を習得できる医療機関数に違いがある。子弟の教育環境に違いがある。

(参考①)H16~18年に(独)国立病院機構 岡山医療センターが経営改革を行い、手術数・紹介患者数とも大幅に増加している

(参考②)2010年実績 「心臓手術」: 広島県1,449件、岡山県:1,326件 「頭蓋内手術」: 広島県1,449件、岡山県:1,326件

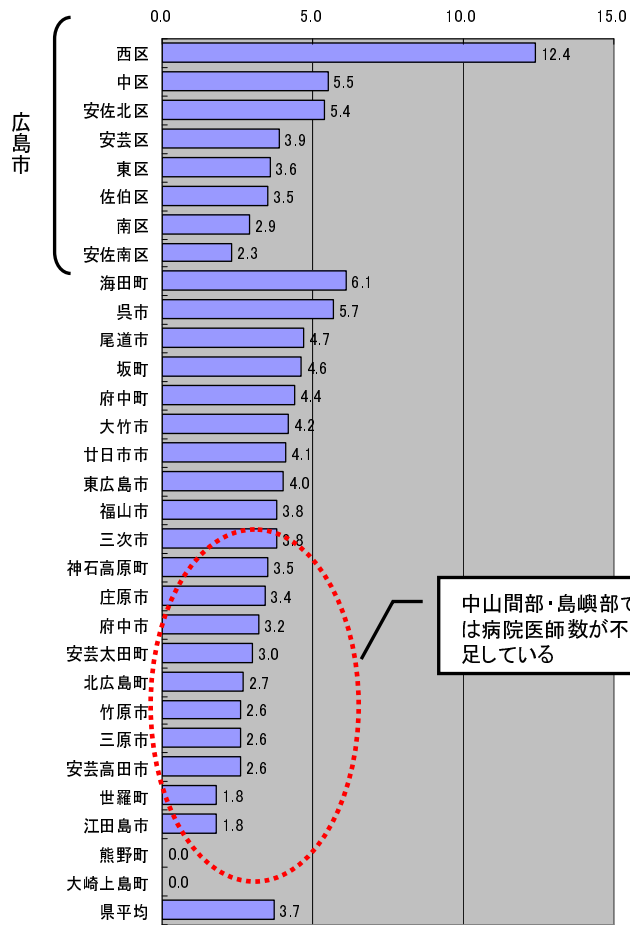
## 「研修医」採用数の推移

(出典:厚生労働省「臨床研修医在籍状況の推移」) (単位:人)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H16~23年
広島県	134	143	125	135	142	141	140	144	1,104
岡山県	148	134	142	133	150	153	138	164	1,162
山口県	70	67	61	67	57	62	77	83	544

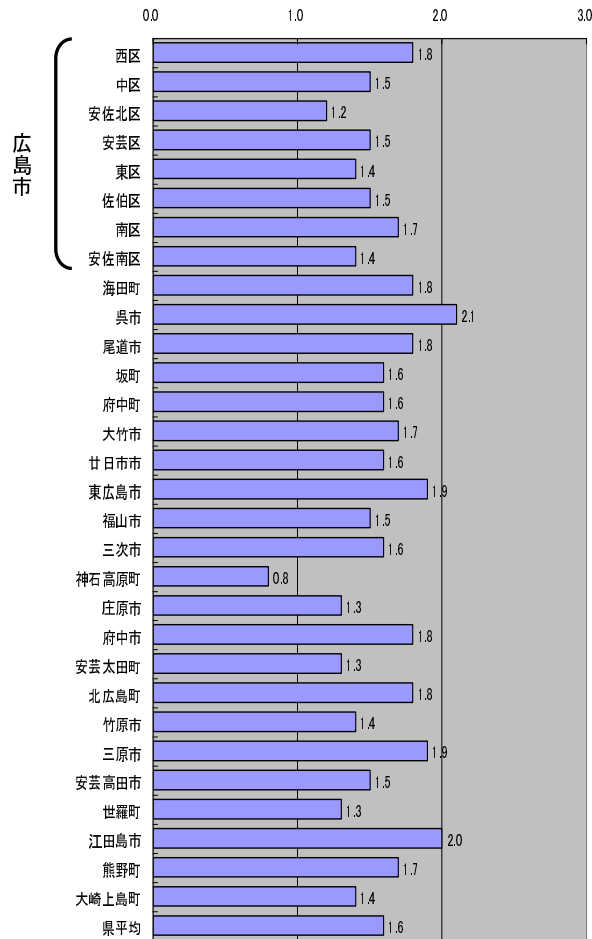
# 蔵田委員 資料編 ⑤ 県内地域別 医師の偏在状況

「病院」受診患者100人当り「病院医師数」

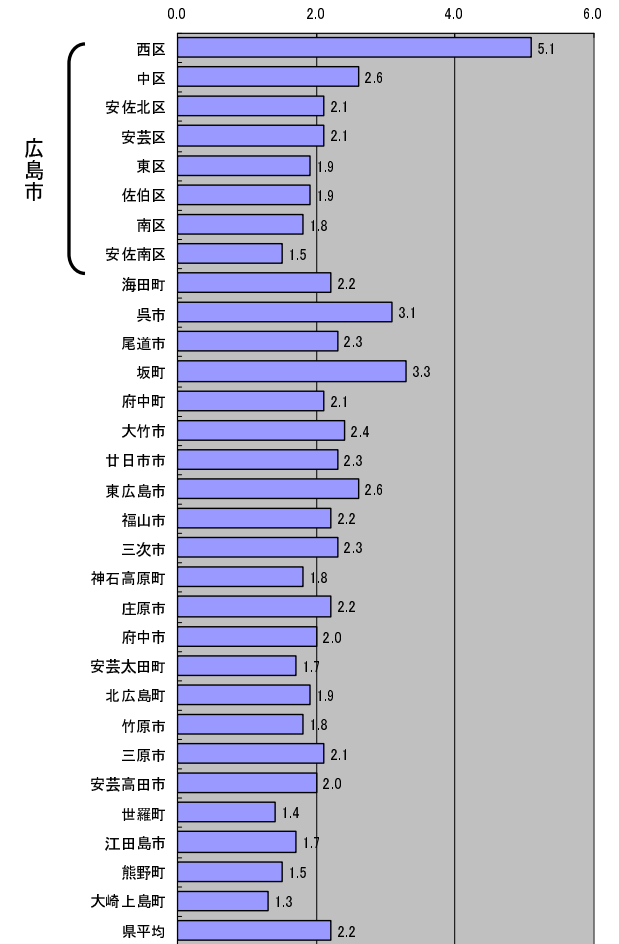


中山間部・島嶼部では病院医師数が不足している

「診療所」受診患者100人当り「診療所医師数」



「病院＋診療所」受診患者100人当り医師数



## 蔵田委員 資料編 ⑥ 他県の「高度医療都市」概要

県・都市名	計画・構想名	コンセプト	場所・実施時期など	計画又は整備済の機能
福岡県 福岡市	ふくおか健康未来都市構想	✓健康・医療・福祉産業の集積を牽引する中核機能として高度専門医療機関の立地を進める	✓福岡市東区香椎 「福岡アイランドシティ」 ✓第Ⅰ期:2013年に着工 2014年9月オープン ✓第Ⅱ期:2015年度予定	✓第Ⅰ期事業 ・高度・多機能型リハビリテーション病院(338床) ・市立こども病院(260床)の移転 ✓第Ⅱ期事業 ・国際共同治験施設 革新的医薬品、医療機器の開発 & 研究
兵庫県 神戸市	神戸医療産業都市構想	✓医療産業、医療関係の学術機関を集積させ、産学連携による高度医療技術の国際的な研究開発拠点を整備する	✓神戸市ポートアイランド2期地区のポートライナー「医療センター駅」周辺 ✓2003年から順次整備が進んでいる	✓先端医療センター(60床) 移植、再生医療などに注力 ✓神戸市立中央市民病院(912床) 先端医療センターと連携して臨床分野を担っている ✓14の中核施設をはじめ200社以上の医療関連企業が進出済み
静岡県 駿東郡	ファルマバレーセンター (富士山麓先端医療産業集積構想)	✓製薬・医療機器工場の他、研究拠点が集積している静岡県東部地域に県立静岡がんセンターを核とした医療城下町をつくる	✓2003年:中核支援機関設立 ✓2004年:文科省補助事業として採択 ✓2011年:「ふじのくに先端医療総合特区」が地域活性化総合特区に指定	✓共同研究、産業化のコーディネート、創業支援など ✓静岡県治験ネットワークの運営 県内中核病院:29施設が参画 ✓全国初の病院運営の「認定看護師教育機関」の設置、運営